

☐ はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

ひろむし

日付 平成 20年 8月 11日

特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「そこ！海老が固まるとる、そうじゃ、この辺も！」「これ全部入れてええんか？こんなもんか？」リビングでは昼食のちらし寿司作りの真最中、寿司桶をかき混ぜる職員の両側でAさんとBさんが団扇で扇く。「筍入っとるか？椎茸は？」外野でCさんも監督に忙しい。「錦糸卵もうちょっと小そう切りゃあよかったなあ」言われた職員は小さくなっている。「美味しそうないいにおい」と言ったら、「ええにおいだけ御馳走したげよ」とAさんが笑いかけてくれる。「あんた、どこから来たん？子供何人？」初対面の私にCさんはなつっこく尋ねる。「和気はええ所じゃぞ」と力説する地元出身のCさんに、満州暮らしの経験があるAさんが「よそに住んだ事ないからじゃ」ボソリと言うのが可笑しい。「あんた藤野におったんよ」Cさんの思い込みに「あらそうでしたか？」神戸出身のDさんがにこやかに受ける。耳の遠いCさんには聞こえず、皆が互いをよく分かり合っていて、全てがよい感じに治まっている。ホームの利用者達は全員女性、穏やかな性格の人が多く、女同士の気安さが漂い仲間同士のお喋りが楽しい。「外国は行った事ない。何か恐い」と職員が言うと「あらどどん行かなきゃ、満州はいい所よ」Cさんがはっぱをかける。「寿司はええ味、美味しかったよ」誉められて職員も嬉しそうだ。職員・利用者それぞれが無理をせず、個性を出し合っていて実に居心地が良い。食後一休みしてから、風船バレーが始まる。誘われて今月入所したばかりのDさんが「皆の声よう聞こえて行ってみたいと思とった」とやって来た。今日は寝ていたい日で眠り姫になっていたEさんも、声かけられてその気になって部屋から出てきた。「ここへおいで」仲間達が優しく迎える。「それ！どれ！ホイ！」風船追いかけて手が出る。足も出る。口も負けずに大活躍、仲間入りした私は完全に負けている。「来た来た、ホーレ！うまいなあ」職員は上手にのせる。だんだんムキになって熱中してくると、痛くて曲がりにくい腰も落ちた風船拾おうとぐっと屈み、思わず腰が浮いて立ち上がる。汗をかいたら歌でちょっと休憩、「何か歌うて下さい」と職員に言われ「歌忘れた」と返す人に、誰かが「歌を忘れたカナリヤやか？」とつつこむ。Bさんの書いた七夕飾りの短冊“夢でいいから天国へ行ってみたい”を見つけて、「天国ってどんな所かな？」と言えば「行って来てみて帰って教えて下さい」すかさずAさんが応えて皆で大笑い。気さくで面白い住人達との笑いの内に時が過ぎ、あっという間に一日が終わった。

特に改善の余地があると思われる点

利用者の皆さん、それぞれに認知症の症状の重さは違うけれど、コミュニケーションは活発にできる。殆んどうつむき加減の人でも、話しかけると結構楽しそうに返事をしてくれた。日頃から話しかける「きっかけ」を利用者に投げかけて、元気な人は先行きにに向けて、現在不自由な人はそれなりに話しをする習慣をつけてあげて欲しい。相当症状が進んでもう話が出来ないと決めつけている人も多いが、しっかり向き合い、スキンシップを伴って話しかけると、殆んどの方は反応を示し、喜んで表情を確認することができる。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	1、自主評価について…：今年の目標は“外に出よう”にしている。出られる人はすぐに出て外の空気を吸おうと軽いフットワークで実行している。地域の人達との交流も含めて、一つひとつ実行する目標を定めているのはとても良い。 2、全体的に見て…：この地で医療に携わってきた母体法人は30年前特養を開設し、福祉の分野でも貢献してきた。高齢化する地域の受け皿として介護保険制度発足と同時にグループホームとケアハウスを併設した。法人全体で職員育成に力を注ぎ、資格取得を奨励している。職員は特養で身体介護を勉強後、その適性に合わせホームに配属される。勤務体制がしっかりしているので離職者もほとんど無く、職員達は利用者ここにきて良かったと言ってもらえるホームを目指し、やりがいを持って仕事をしている。向上心溢れる言動に資質の良さを感じた。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	1、自主評価について…：リビングルームには3つのテーブルがあり、そこにグループで座っている。厨房ゾーンも含めて余り広いスペースではないが、食事をする時、風船バレーをする時、はり絵をする時等テーブルを移動して、自由に空間を作り出していく動きは楽しい。 2、全体的に見て…：四季折々の風情漂う山を背景に、関連施設敷地内の緑に囲まれた自然環境の中にホームがある。周辺は安全で安心な散歩コースだ。玄関横のベンチで一休みも楽しい。居室からテラスに出てホームの畑や庭を眺め、リビング横のガラス張りの坪庭に降る雪や雨を見ると、居ながらにして戸外を感じる。「温泉に行こう」とケアハウスの大浴場に行くと聞いて見せてもらう。リウマチ・腰痛・神経痛など効能書き付き準天然温泉「ひろむし」の“湯”の看板に迎えられ“湯”の暖簾をくぐると庭が見える大浴場がある。生活を楽しむ仕掛けが嬉しい。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	1、自主評価について…：日頃の利用者に対するケアは十分行われており、利用者と職員の関わり合いも問題ないと思われるが、ケアの基本である人間としての尊厳を大切に、コミュニケーションを十分にして利用者との心の通いをもっと深めていきたいと考えている。 2、全体的に見て…：ベッドは落ちるから絶対嫌だといざって移動していた人に、職員は一致団結して昼食後の休憩をベッドで過ごすことから始めて、少しずつ慣れるよう支援した。本人は自分で動ける範囲が拡がり自信を取り戻し、面会に来た家族も顔付きが変わって表情も豊かになったと驚いた。帰宅願望が強く、日に何度も荷造りしてホームを出ていた人も、それに付き合う職員との関わりの中でホームで安心して暮らせるようになった。様子を見て医師と相談しながら、入所時服用していた薬を出来るだけ止めるよう取り組んだら、ふらついてた足取りもしっかりして表情が出てきた人もいる。ホームに来て改善した事例は多い。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	1、自主評価について…：職員は法人全体としての研修を受けており、利用者へのケアのあり方も良く勉強している。資格も介護福祉士は最低限取得するよう意気込んでいる。今年度新しく高校を出て配属された新人も利用者に好感を持たれ頑張っていた。 2、全体的に見て…：ホーム周辺には同一母体法人の病院・ケアハウスが隣接し、互いに連携を取り合っている。行事食や夕食、二日に一度の昼食はホームで作るが、それ以外は特養から配食され、皆で盛付けをしている。関連施設の慰問や催しは声をかけ合い共に楽しんでいる。母体法人全体での夏祭りは地域住民も含めて500人以上が参加する大イベントとして定着している。夜間や緊急時何かあればすぐに特養やケアハウスから応援がきて、母体法人も24時間いつでも対応してくれる。医療と福祉の提携を図った母体法人全体でのサポートがこのホームの強みとなっている。		